

平成29年度事業計画書

【 平成29年度基本行動方針 】	1 ページ
【 総務部・業務計画 】	2 ページ～4 ページ
【 供給部・業務計画 】	5 ページ～6 ページ
【 血漿分画促進部・業務計画 】	7 ページ

【 平成29年度基本行動方針 】

公益財団法人としての社会的使命を役員及び全職員が自覚し、定款第3条に掲げる「本事業団は、血液由来製剤等を必要とする患者、医療関係者及び医療機関に対し総合的な血液供給事業を行い、献血血液による血液事業の円滑かつ適正な推進及び発展に寄与することを目的とする。」という理念に基づき、平成29年度の基本行動方針を策定し、各事業を推進する。

1. 本事業団は、日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターとの契約に基づき、従来どおり、より効率的、確実な血液供給業務を心がけ、東京都赤十字血液センターとの業務連携を基盤に、医療機関等のニーズに的確、適正に対処していく。
2. 社会から信頼される供給体制の確立のため、供給過誤防止、交通事故・違反の防止を図ることを最重要課題とし、職員教育・手順書の整備・インシデントレポートシステムの活用を図るとともに、コンプライアンスの推進を強化していく。また、東日本大震災を教訓として防災体制を充実・強化していく。
3. 当団としては歴史的な転換事業となる供給管理システムの導入に向け、東京都赤十字血液センターの協力を仰ぎながら、長年培ってきた知識と経験を生かしつつ、9月予定の本稼働に向け慎重な作業を進めるとともに、医療機関への事前説明を行い、円滑な運用を目指していく。
4. 血漿分画製剤について、平成28年度は、薬価改定が実施されたが、医療機関への訪問を密に行うことで、大方の医療機関で取引を継続することができた。平成29年度は、薬価改定はないが、医療機関への訪問活動を更に積極的に行い、国の方針である国内自給の原則と安定供給の確保に基づき、第Ⅷ因子製剤であるクロスエイトMCをはじめとする献血由来血漿分画製剤の供給促進に引き続き努めていく。

【 総務部・業務計画 】

1. 車両整備及び車両装備計画

- ・平成29年度は緊急車両5台、普通車両1台を代替更新する。

	平成28年度 予定保有台数	平成29年度 廃車予定	平成29年度 配備予定	平成29年度 予定保有台数
緊急車両	56台	5台	5台	56台
普通車両	18台	1台	1台	18台
合計	74台	6台	6台	74台

2. 職員の充足及び教育研修計画

(1) 職員の充足計画

		平成28年 4月1日	平成28年度 退職予定	平成29年度 採用予定	平成29年度 予算定員
職員数		134名	3名	5名	136名
内 訳	男性職員	111名	1名	4名	114名
	女性職員	17名	0名	0名	17名
	男性嘱託職員	3名	0名	1名	4名
	女性嘱託職員	3名	2名	0名	1名

(2) 教育研修計画

- ・各種教育、研修、講習会等を実施し、各職員の資質の向上を図る。特に車両運転に関しては外部研修会等に参加させ、運転技量の向上、安全運転の推進をする。

3. 血液製剤の供給業務委託契約等について

(1) 輸血用血液

- ・東京都内における輸血用血液の日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターとの契約は前年度に引き続き、「輸血用血液の供給にかかる業務委託契約」(いわゆる供給手数料)によって実施する。

(2) 血漿分画製剤

- ・各メーカーから血漿分画製剤を直接仕入れ、販売を行う。
各メーカー (一般社団法人日本血液製剤機構(JB)、日本製薬株式会社、
帝人ファーマ株式会社等)

4. 調査研究及び広報普及事業

(1) 調査研究

- ・日本血液事業学会、日本輸血・細胞治療学会等に参加し、演題の発表及び報告書の作成を行う。

(2) 広報普及活動

- ・下記の会合を実施し、関係機関に対する情報提供、適正使用のための啓発、献血思想の普及向上等の活動を行う。

(ア) 医療機関に対する血液事情等に関する情報提供

(イ) 東京都赤十字血液センターと業務運営に関する連絡会議の実施

(ウ) 各種団体、企業への献血協力依頼

(エ) 血液製剤供給業務途上における各種広報普及活動の実施
(車両用広報ステッカー等の作成)

(オ) 献血ルームにおける献血者への協力呼び掛け等の実施

5. 防災訓練

- ・東京都、各市区町村主催の防災訓練に参加するとともに、広域需給体制に対応したより実践的な自主防災訓練を実施する。

(ア) 合同防災訓練

① 平成29年度東京都・調布市合同防災訓練に参加予定

② 平成29年度東京都・島嶼総合防災訓練に参加予定

③ 八王子市総合防災訓練に参加予定

(イ) 事業団独自に行う自主防災訓練の実施

【 供給部・業務計画 】

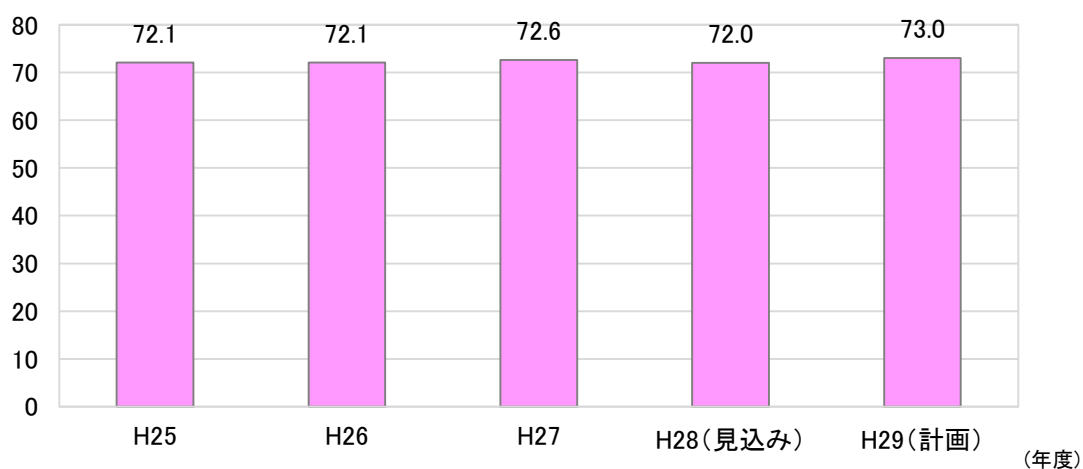
1. 輸血用血液供給計画

(1) 赤血球(単位換算)

平成28年度見込み	719,850 単位
平成29年度計画	729,890 単位

(対前年比101.4%)

(万単位)

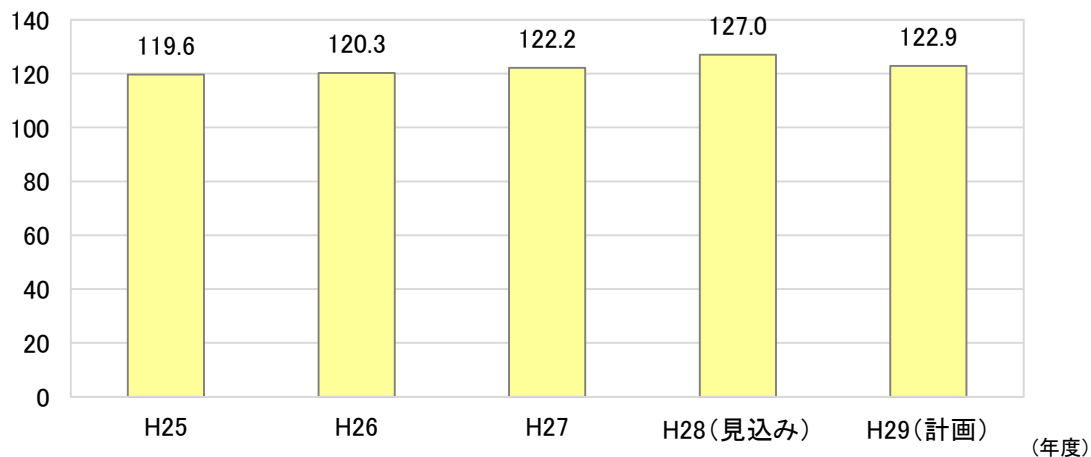


(2) 血小板(単位換算)

平成28年度見込み	1,270,440 単位
平成29年度計画	1,229,350 単位

(対前年比96.8%)

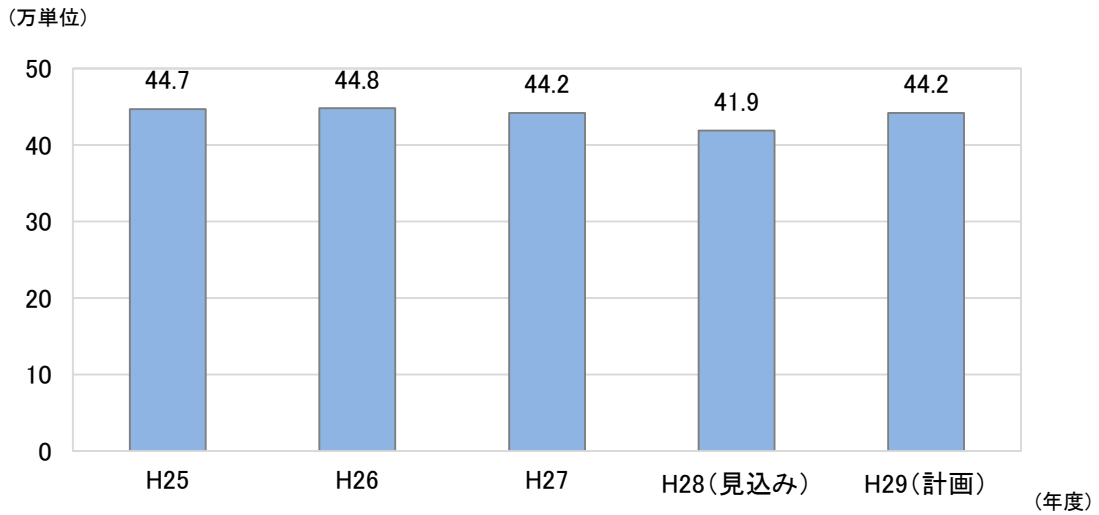
(万単位)



(3) 新鮮凍結血漿(単位換算)

平成28年度見込み	419,260 単位
平成29年度計画	441,900 単位

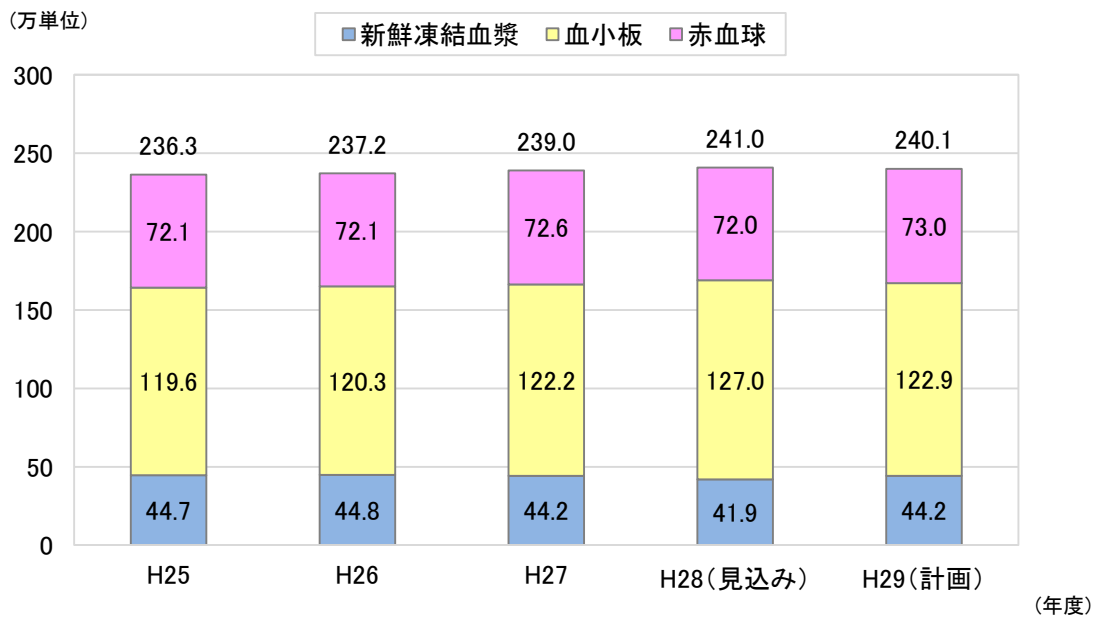
(対前年比105.4%)



(4) 総供給数(単位換算)

平成28年度見込み	2,409,550 単位
平成29年度計画	2,401,140 単位

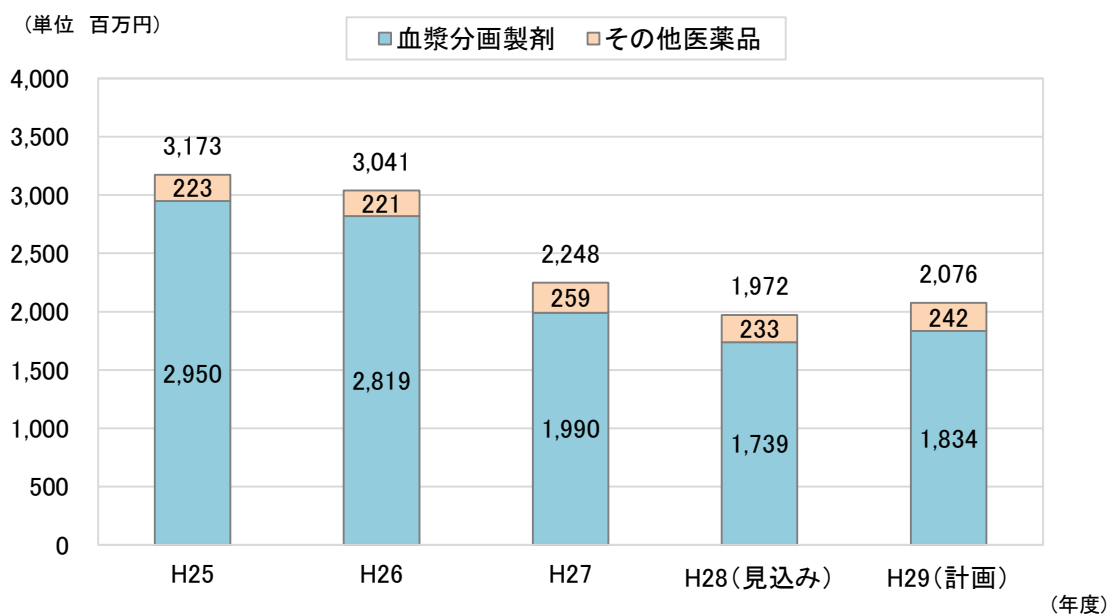
(対前年比99.7%)



【 血漿分画促進部・業務計画 】

1. 血漿分画製剤、その他医薬品の供給計画(総供給金額)

平成28年度見込み	1,972,000 千円
平成29年度計画	2,076,000 千円



2. 医薬用器具等の販売計画

平成28年度見込み	113,000 千円
平成29年度計画	116,400 千円

